



愛知県ボート協会 会長
石鍋 寿久

ごあいさつ

「第15回ジャパンオープンマスターズ、第31回マスターズレガッタ」「第50回中部学生新人競漕大会」「愛知県高校新人戦」が愛知県東郷町の愛知池漕艇場で開催できますことに、主催者の一人として誠に喜びに堪えないところであります。特にマスターズレガッタは歴史も長く、これまでボート競技に携われた方々がボート仲間と一緒に参加いただくことにボート競技の普及の観点から協会として感謝しております。

来年2022年秋には愛知池で「アジアマスターズレガッタ」開催の準備が進められています。是非、海外のマスターズ選手と競漕・交流を含め参加いただきたいと思っております。

新型コロナウイルス感染が拡大する中で本年夏に東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。日本ボート界は悲願であるメダル獲得には届きませんでした。他の競技を含め日本選手団の活躍がTVで視聴できたことは良かったなど感じております。愛知県ボート協会は6月に一般社団法人を取得し、普及・強化を2大目標に掲げて協会活動を推進していきますので引き続き皆様のご協力・ご支援をお願いいたします。

10月に緊急事態宣言が解除されたものの、あらゆるスポーツ種目でも大会中止や開催規模縮小が余儀なくされており、これまでとは別次元のレベルで選手および大会関係者や観戦者・応援者に対する感染防止対策が求められております。今回の大会でも、主催者として、万全の新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、「大会期間中の感染者ゼロ」を必達するため、感染リスクの徹底的な排除を前提とした大会運営を実施します。ご不便をお掛けする場面があろうかと察しますが、参加選手および大会関係者の皆様のご理解、ご協力をお願いします。

参加選手の皆さん、この1年の間で社会、家庭、練習の環境が大きく変化したと思っております。ボートを漕げる環境を与えてくれた全ての皆様に感謝し、日ごろ鍛えられた力と技を十二分に発揮して、明るく、楽しく、元気よく、正々堂々とレースを展開されますこと心から祈り、私のあいさつといたします。

一般社団法人 愛知県ボート協会 会長
石鍋 寿久

2021年10月吉日